

報道関係各位

2026 年 9 月 8 日
株式会社お金のデザイン

～銀行預金だけに偏らない、新しい選択肢～

お金のデザインの投資信託「貯蓄マックス！」
Habitto の新サービスブランド「貯蓄の窓口 by Habitto」で提供開始

先進的なデジタル資産運用を提供する株式会社お金のデザイン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伴 雄司、以下「当社」）は、2026 年 9 月 8 日（火）より、株式会社 Habitto（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：サマンサ・ギオッティ、以下「Habitto」）が展開する、高金利の貯蓄口座と専属アドバイザーへの無料相談がアプリで完結できる新サービスブランド「貯蓄の窓口 by Habitto」を通じて、「お金のデザイン・デジタル・レンディング・ファンド 愛称 貯蓄マックス！」（以下「貯蓄マックス！」）をお申込みいただけるようになったことをお知らせいたします。

「貯蓄マックス！」は、日本銀行の政策金利+1.00%*1を目標利回りとし、銀行預金だけに偏らない新たな資産の置き場所を提供することをコンセプトとした投資信託です。

2026 年 4 月 23 日に設定・運用を開始しており、今回、Habitto の新サービスブランド「貯蓄の窓口 by Habitto」により、インフレ時代における新たな貯蓄のあり方を提案する代表的な運用商品として「貯蓄マックス！」が展開されます。

※「貯蓄マックス！」は、2026 年 9 月 8 日（火）より「貯蓄の窓口 by Habitto」を通じてお申込みいただけるほか、CHEER 証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林 伸行）でも直接お申込みいただけます。いずれの場合も販売会社は CHEER 証券株式会社です。

<貯蓄マックス！の設定背景>

金利のある世界が日本にも戻る一方、物価上昇が続く中で、資産のすべてを銀行預金として保有することにも、株式など価格変動の大きな資産へ投資することにも、それぞれ異なる課題があります。

当社は、長期的な資産形成を目的とした株式中心の運用だけではなく、数年後に使用する可能性がある資金や、現在銀行口座に置かれている資金についても、リスクを抑えながら一定のリターンを目指す選択肢が必要だと考えました。

そこで設定したのが、「貯蓄マックス！」です。主として世界各国の企業向け短期ローンへの分散投資を通じて、価格変動を抑えながら安定的な収益の獲得を目指し、「預金」と値動きの大きな「投資」の間にある、新たな資産運用の選択肢を提供します。

<貯蓄マックス！の3つの特徴>

1. 銀行預金よりも高い目標利回りを目指す

2026年7月1日から適用の目標利回り 年率 2.00%（税引前）*2

一般的な銀行の普通預金（0.3%）や一年定期預金（0.4%）*3 を安定的に上回る、高い利回りを目指します。元本や利回りの保証はありませんが、貯蓄マックス！の主な投資対象ファンドと同じ運用戦略を用いるファンドの過去の運用実績では安定して目標利回り以上を実現しています。

2. 政策金利が上がれば目標利回りも上がる 目標利回り=日銀政策金利+1.00%

貯蓄マックス！の目標利回りは、「日本銀行の政策金利+1.00%」*1 として定めています。日本銀行が政策金利を引き上げるたびに、貯蓄マックス！の目標利回りも引き上げることを目指します。インフレへの対策として機能します。

3. 企業向けローンへの分散投資で安定した運用

貯蓄マックス！の主な投資対象ファンドは、主として短期の海外企業向けローン（金銭債権）に投資するため、日々の値動きに一喜一憂せず安心して運用できます。対円で為替ヘッジを行い為替変動の影響を抑えます。借り手企業の詳細なデータを審査に利用できる、先進的なデジタルプラットフォームを活用しています。これによって、1社あたりの貸付額は少額に抑え、リスクを分散して安定した利回りを目指します。

<商品詳細ページ>

https://www.money-design.com/fund/digital_lending/

*1 政策金利とは、銀行間で取引される無担保コール翌日物金利に対して、日銀が定めた誘導目標を指します。2026年7月1日から適用の政策金利は1.00%です。

*2 貯蓄マックス！の主な投資対象ファンドと同じ運用戦略を用いるファンドの過去の運用実績は貯蓄マックス！の将来の成果を保障するものではありません。過去の運用実績は販売用資料をご参照ください。

*3 銀行預金金利は2026年3月1日現在でメガバンク3行が公示している預金金利の平均です。

※目標利回りとは、必ず一定の収益を得ることのできる運用を意味するものではなく、記載されている目標利回りの数値は、その達成を示唆・保証するものではありません。したがって、投資者の元本が保証されるものではありません。

<商品概要>

商品名	お金のデザイン・デジタル・レンディング・ファンド（愛称：貯蓄マックス！）
投資対象	Digital Impact Lending Fund Class H JPY Unit の投資信託証券への投資を通じ、主として世界各国の中小企業等向けの金銭債権に実質的に投資します。
決算	年1回（毎年12月31日）※国内休業日の場合は翌営業日
委託会社	株式会社お金のデザイン（ファンドの運用の指図等を行います。）
販売会社	CHEER 証券株式会社（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）
金融サービス 仲介業者	株式会社 Habitto（販売会社の委託を受けファンドの申込受付等を行います。）

今後も引き続き、貯蓄マックス！をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

株式会社お金のデザイン 広報担当

Email : press@money-design.com

※当資料は、プレスリリースとして当社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また投資勧誘を目的とするものではありません。ご購入に当たっては、販売会社よりお渡しする最新の交付目論見書の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断下さい。